

# 議会だより

第 61 号

2020. 8 月

発行 / 八幡浜市議会

～令和 2 年 4 月臨時会・6 月定例会号～



## 名誉市民に思いを馳せて

修復された菊池清治邸を

議会だより編集委員会が視察

菊池 清治 氏  
(初の公選選出となった  
第6代・第7代 八幡浜市長)



議案等別表決一覧表	P 2
市の考えを問う(6議員が一般質問)	P 3
各常任委員長報告	P 10
救急車のETCレーン無料通行を 求める意見書	P 11
八幡浜市民文化活動センター視察	P 12



菊池清治邸外観(八幡浜市183番地)



# 一般質問

## 6人が市政をただす！

11人が聞きたい！

今定例会では、6人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をただしました。

掲載は質問順で、質問及び理事者答弁は質問者本人が要約したものです。なお、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

\*会議録は、市議会ホームページ上 (<http://www.city.yawatahama.ehime.jp/sigikai/>)、議会事務局、市立図書館、中央公民館、中央公民館保内別館でご覧になることができます。

質問者（質問順）	質問項目	ページ
大山政司	① フェリー会社の支援について ② 民生委員について ③ 松柏中学校の統合に関して	4
高橋時英	① 新型コロナウイルス感染症対策等について	5
西山一規	① 八幡浜市のお金の流れについて ② 新型コロナウイルスの感染対策について	6
佐々木加代子	① 新型コロナウイルス感染症における八幡浜市の取り組みについて	7
河野裕保	① 新型コロナウイルス感染症対策等について	8
遠藤綾	① 新型コロナウイルス等の感染をどう防ぐか ② 新型コロナウイルス禍での経済対策	9

### ～議会を傍聴しませんか～

次の定例会は9月に開かれます。傍聴席は八幡浜庁舎7階にあり、52席用意しています。

傍聴席入口には、受付簿を置いていますので、氏名、住所等をご記入のうえ、傍聴してください。

### ～インターネット配信について～

インターネットで本会議（開会日、一般質問）の中継録画を配信しています。

八幡浜市議会ホームページからご覧ください。

[こちらからアクセス](#) ⇨





大山政司議員



# フェリー会社にも支援を！

市長

## 減免措置等、具体的に検討する

### フェリー会社の支援について

**問** 新型コロナウイルス等の影響により、八幡浜と九州を結ぶフェリー航路も、3月、4月、5月の売り上げが60%の減、ゴールデンウィーク期間中は87%減との報告を受けている。この航路は年間約76万人の乗客と約36万台の車両を輸送する重要な航路であり、それを担うフェリー会社に対して、港湾施設使用料の減免等の措置は行わないのか。

**答** フェリー利用台数の対前年比で、3月のトラック台数はほぼ前年並み、乗用車台数は44%の減、合計で22%減。4月のトラック台数は8%の減、乗用車台数は86%の減、合計で54%の減となっている。ゴールデンウィークの4月27日から5月6日の10日間では、トラック台数は36%の増、乗用車台数は98%の減で、合計88%の減となっている。

5月中旬にフェリー会社2社から陳情を受けており、その際に直近の深刻な経営状況について説明を受けた。減免措置等を実施することについて、どのような内容が適当か、何らかの対応は必要であると考えており、具体的に検討を進めていきたい。

### 民生委員について

**問** 民生・児童委員の方の中には、公民館、自主防災会、社会福祉協議会等の役員を兼務している場合があり、大変苦慮されているが、支援はないのか。

**答** 民生・児童委員がいかに大変な仕事であるかは、十分認識している。

当市では、各地区民生児童委員協議会長や区長に協力を依頼し、人格、見識、広く社会の事情に通じ、かつ社会福祉の増進に熱意のある方を候補者として推薦いただいているが、就任された方については、無理のない範囲で活動できるように様々な形で支援したい。

### 松柏中学校の統合に関して

**問** 平成30年2月に教育委員会が策定した学校再編整備実施計画案の中に、令和4年4月1日に、松柏中学校と八代中学校を統合するとの案があるが、現在の経過状況はどうか。

**答** 平成30年度から、江戸岡小学校や千丈小学校の保護者に対して、説明会を実施したが、地域性の相違や統合となった際の通学方法が問題となった。

令和元年度は、説明会の実施に併せてアンケートを取り、そのアンケート

に対する回答も提出して保護者の理解を求めている。

**問** 統合後の通学について、どのような対策をとるのか。

**答** 統合後の八代中学校への通学については、通学距離に応じて徒歩、自転車、スクールバスを想定している。

スクールバスについて、登校は1便、下校は部活動等を考慮し、2便体制で対応したい。

**要望** 松柏中学校は、昭和22年4月16日に八幡浜市立第2中学校として開校され、今日までに7千157人が卒業し、最大生徒数は530人であった。現在も多くの松柏地区住民がいるため、統合した場合、残る松柏中学校の活用について、①千丈地区公民館等の移転。②図書館、民芸館、スポーツ施設の整備。③避難所として整備。④遊具を設置して子どもの遊び場にする等、十分に検討を行ってほしい。



松柏中学校

高橋時英議員



# プレミアム商品券の発行を！

市長

効果的な時期に発行したい

## 新型コロナウイルス感染症対策等について

**問** 行政職場における感染拡大防止対策を伺う。

**答** マスク着用等のほか、窓口カウンターに飛沫防止シートの設置、県外出張禁止等を実施している。

万が一、集団感染した場合、該当部署は閉鎖し、職員を自宅待機させるが、最低限の業務を継続するため、事前に各業務の代替職員リストを作成するなど対応したい。



窓口に設置されている飛沫防止シート

**問** 病院職場における感染拡大・医療崩壊防止対策を伺う。

**答** 感染拡大回避行動を基本としながら、マスク着用等のほか、県外からの帰省者等との接触制限等に加え、リモー

ト院内会議の実施等をしている。

また、面会も原則禁止とし、外来患者様にも、マスク着用を協力いただいている。万が一の場合に備え、感染症病床2床に加え、陰圧の病床を10床用意したが、その場合、医療スタッフの人員体制も厳しくなるため、県と連携し、機能を失わないよう努める。

**問** 避難所での感染防止対策を伺う。

**答** 避難者同士の間隔を2メートルほど確保、マスクの着用のほか、検温の実施等の対策を講じる。

また、今まで使用していない棟や部屋を活用し、出来るだけ多くのスペースを確保する。

**問** みかんアルバイトの確保について伺う。

**答** 昨年度のアルバイト実績は457人。今年度はJAにしようわが、感染予防に係るガイドラインを作成し、取り組んでいる。

今後は、各雇用促進協議会と労働力確保について協議を進めていくが、県・JA等と協議をした上で支援をしたい。市営住宅での受入については、入居者には高齢者も多いため、受入施設がほかに無い場合に限り、管理組合等と協議をしたい。

**問** 感染症に係る偏見と差別について伺う。

**答** 学校・社会教育において、情報を

見極める判断力を育成する。

また、医療従事者等を応援するシトラスリボン運動等を広げながら、相談窓口を開設し、適切な支援ができるように努めたい。

**問** 事態の長期化に備え、ふるさと納税等を活用した基金を創設してはどうか伺う。

**答** ふるさと納税と基金をリンクさせることは、慎重であるべきと考える。地方創生臨時交付金等の各種交付金のほか、財政調整基金等も有効に活用しながら、局面に応じて対策を講じたい。

**問** 市税収入の見通しについて伺う。

**答** 法人市民税は、今年度は約40%、約6千万円の減収を見込んでいる。

個人市民税は、今年の収入により来年度の税額が決まるため、今後の感染拡大の状況によるが、大幅に落ち込むものと考えている。

**問** 社会経済活動と感染拡大防止の両立のための市の施策、今後のプレミアム商品券の発行について伺う。

**答** これまで、事業者支援、特別定額給付金の早期の支給など、市民の生活支援に取り組んできた。

プレミアム商品券については、商店街、ホテル、タクシー業者等を対象に発行を考えているが、時期については、ある程度、事態が収束した頃の方が効果的であると考えている。



西山一規議員



# 感染の根本対策は！

保健センター所長

## 手洗い・マスク・距離確保

### 八幡浜市のお金の流れについて

**問** 新型コロナウイルス感染症対策の特別定額給付は、市全体でいくらか。

**答** 対象人数は3万2千908人で、総額は32億9千80万円である。

**問** 給付を辞退すると流入額が減るため、辞退せず受け取るべきと考える。市として、この給付金をどのように使っていたのが理想的か。

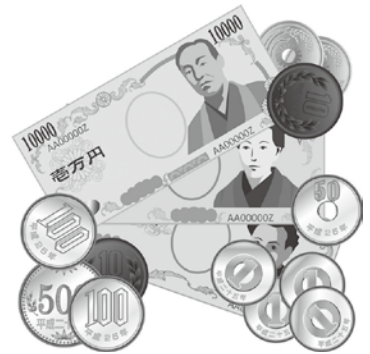
**答** 市民宛ての要請文を同封しているが、給付金は生活維持に役立て、可能な限り地元で消費し、地域経済の活性化に御協力いただきたい。

なお、給付が迅速にできたことで市民からは大変喜ばれている。

**問** お金の流通量より物が多い時にデフレ、お金が多い時にインフレとなる。コロナ対策の様々な自粛により、お金の流れが悪くなり、デフレに向かう要因。かたや国では国債を発行し、給付金を増やし、民間は借入を増やしているため、お金の量が増え、インフレに向かう要因。今後はインフレ・デフレどちらに向かうと思われるか。

**答** 専門家でも意見が分かれ現時点で予測は難しい。今後、行動の自由が回復し、どの程度需要が発生するか注目し、国の施策にも期待しながら市独自の

の施策を展開し経済回復に努めたい。



### 新型コロナウイルスの感染対策について

**問** ウイルスとは何か。

**答** 病原微生物は、サルモネラ等の細菌と、ノロウイルスやコロナウイルスなどのウイルスに分けられる。

細菌は細胞であるが、ウイルスは遺伝子とたんぱく質の単純な構造であり細菌とは異なる。ウイルスは単体で増殖できず、動物や人を宿主とすることのみ増殖できる。

**問** 新型コロナウイルスに感染しないため、市としてどのような対策をとっているか。

**答** 基本的な感染予防策や3密を避けることが重要とされ、広報やホームページ、防災行政無線を用いて啓発している。①小まめな手洗い、定期的な換気、健康管理に努める等、移らない自己防衛。②せきエチケットの徹底や体調管

理し、他人と距離をとる、移さない配慮。③県外に出る際は3密を避ける等、呼びかけている。

**問** 感染対策の重みづけを提案したい。根本的に感染しないためには、粘膜にウイルスを付けないよう手洗い（消毒）前に顔（目・鼻・口）を触らない。マスクは鼻・口に触れないために有効。3密対策は感染確率を下げることであり、根本対策をした上でのことではないか。

**答** ご提案のとおり、今後長期間にわたって感染拡大を防ぐために提言された新しい生活様式においても、感染防止の3つの基本として、手洗い、マスクの着用、身体的距離の確保が提唱されている。今後も感染防止対策をあらゆる場面で引き続き市民へ周知していきたい。



佐々木加代子議員



# 新たな独自支援を！

市長

## より大規模な生活支援、消費拡大策 を考える必要がある

### 新型コロナウイルス感染症 における八幡浜市の 取り組みについて

**問** 特別定額給付金の現時点での給付状況と本人自らの申請が困難な方への対応は。

**答** 6月5日時点の申請書受付件数は、対象世帯1万5千980世帯に対して1万5千16世帯、申請率94%となっている。申請期限は8月11日までとなっており、申請が行われなかった場合は、制度上受給を辞退したものとみなされる。

本人自らの申請が困難な方の対応については、例えば親族や法廷後見人等がないひとり暮らしの高齢者の方等は、民生児童委員協議会に支援を要請。訪問介護等介護サービスを受けておられる方については、介護事業関係機関に再度支援を要請する等、本事業の目的が達成されるよう努めていきたい。

**問** この給付金については、本年4月27日時点で住民基本台帳に登録されている人が対象となっているが、県内では独自支援を打ち出している自治体がある。

新居浜市では、令和2年4月28日以降に生まれた子どもがいる世帯に対し、世帯当たり5万円分の子育て応援

券を贈る事業を計画しているが、八幡浜市においてもできないものか。

**答** 現時点では、国の特別定額給付金事業の基準日を過ぎて生まれた子どもを対象に、市独自で給付金を支給する予定はないが、より抜本的な生活支援あるいは消費拡大について前向きに取り組んでいきたい。

**問** 地方創生臨時交付金の追加交付も予定されていることもあり、八幡浜市においても市民の皆様への新たな独自支援を実行してほしいと思うがどうか。

**答** 当市においても国の制度に基づく支援、県との共助支援はもちろんだが、独自支援策についても取り組みを進めている。今後国・県の制度に基づく支援の活用も図りながら、抜本的な、より大規模な生活支援、消費拡大策を考える必要がある、その方法や時期について十分検討しているところである。

**問** 学校再開後の子どもたちの様子や対応について特に実施していることは。

**答** 中にはゲームに依存したり、夜遅くまで起きている等、生活習慣が乱れたりした子どももいたが、25日からの全面学校再開において、学校訪問で6校回ってみたが、すごく安定している、落ち着いているなど思った。しかし、表に思いが出ない子どももいるので、先生方には目の前の子どもたちの実態に応じて指導していただくようお願い

している。

**問** コロナ感染症の第2波・第3波の起こる可能性が心配されるが、避難所運営や感染症対策についての考えは。

**答** 避難所における感染防止対策は、密閉・密集・密接の3密状態をいかに避けるかが重要。

その対策として、避難者同士の間隔を2メートルほど確保すること、定期的に換気を実施すること、原則としてマスクを着用すること等の感染防止対策を講じていく。

指定避難所については、今まで使用していない棟や部屋を活用する等、出来るだけ多くのスペースを確保する。また、災害の規模等に応じて避難者数も変動するので、密接となる場合には、各地区自主防災会の協力を得て、他の指定避難所を開設する予定としている。



再開された学校の様子



河野裕  
保議員



# 経営や生活にさらなる支援を！

市長・副市長

## 国・県の制度を活用しながら、政策を検討する

### 新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言発出のタイミングについて

**問** コロナ禍による経済への打撃は大きく、内需・外需ともに総崩れの様相を呈している。このような状態に陥ったのは緊急事態宣言の発出の遅れと対策の後手によるものと考ええる。

武漢市の緊迫した実情から判断して、遅くとも3月連休（20～22日）前に、都市封鎖に近い、強い措置により、水際で敵を遮断する必要があったのでは。

**答** 日本の感染拡大に係る緊急対応が適切であったかについては、欧米諸国と比較して穏やかでありながら、大きな感染爆発もなく、人口に対する死者の割合は非常に低い。国民の自発的な支持、協力のもとで達成できたことは評価すべきではないかとの意見もある。国の施策が妥当であったかどうかは、緊急事態宣言の発出のみならず、現在の対応を含めて、専門性の高い機関による検証が必要であろうと考えている。

### 本市の2月～5月の4か月間における経済収縮と支援策について

**問** 現下のコロナショックによる景気悪化は、前回のリーマンショックの比ではなく、メガクライシスが起きつつあると言われている。グローバル企業においてさえも、関連の中小下請け企業へと連鎖し経済収縮は拡大している。

本市でも観光・旅行業、飲食、宿泊、小売り部門において、経営者、従業員、その家族が厳しい状況に追い込まれているのではないかと懸念される。この方たちの経営や生活の困窮度をどう捉え、国・県・市の支援策が十分役割を果たしているのかを考える必要がある。

現下のコロナ禍は、100年に1度の非常事態であることに鑑み、本市の積立金の取り崩しは言うに及ばず、これまでにもマーレード世界大会等のイベント中止の予算、不要不急の公共事業の取り止め等による不用額をかき集めて支援することも考えられるが。

**答** 新型コロナウイルスの影響が開始した2月以降、商工会議所、金融機関、市内の事業者から情報収集を行った。その結果、事業収益は3月から徐々に減少し、4月以降大幅に減少している。

中小企業者等の厳しい状況は、当市の緊急経営資金の申込状況からも明らかであり、5月末時点で65件、総額3億6千370万円となっている。申し込み件数の多い業種として、飲食・宿泊業が21件、卸・小売業が17件、サー

ビス業及び製造業が各10件である。中でも、売上高の減少率が大きい業種は、9割以上減少している事業所を含むサービス業、8割以上減少している事業所を含む製造業、7割以上減少している事業所を含む飲食・宿泊業となっている。

当市は、新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給や支援事業補助金等、市単独の支援策により、中小企業を支援している。国の2次補正においては、事業者の家賃助成も予定されており、これらの制度を活用して困難を乗り切って行きたい。

現在、当市の施策の中止・延期が続いており、事業の不執行もあるが、精査中であり、9月に取りまとめをするよう指示している。国・県の補助金等を活用し、2次補正も見ながら、コロナが収束した際、八幡浜市が元気に存続していくような政策を検討している。



遠藤 綾 議員



# 新型コロナ禍で全市民に保険証を！

市民課長

## 納税相談の上で保険証を交付する

### 新型コロナウイルス感染症をどう防ぐか

**問** 現在の検査体制と市立病院での検査の現状について。

**答** PCR検査は、帰国者・接触者相談センターや、保健所、かかりつけ医が必要と判断した場合に、県指定の病院で検査する。

**問** 安心して経済活動をするため、第2波に備え、南予で一つ等、広域で検査センター設置を検討してはどうか。

**答** 検査は、保健所、県の医療体制のもとで統一的に実施されている。県に検査体制の充実を要請していきたい。

**問** 災害時の避難所の感染対策について、段ボールベッド購入の検討は。

また、間隔を2メートル空けた場合、最大約550人避難の場合、24施設で足りるのか。車での避難や、民間ホテルとの契約等も検討すべきでは。

**答** 段ボールベッドも検討している。

24施設で不足する場合は、他の避難所を開設する等に対応したい。

**問** 伊方原子力発電所の重大事故時の住民避難について、見直す考えはあるか。

**答** 内閣府は6月に、屋内退避の際は、放射性物質による被曝を避けることを優先し、屋内退避指示発令中は原則換気を行わないとの考えを示した。

市としては、2月に住民避難計画を修正したが、国の指針や県の広域避難計画等との整合性を図りながら、見直しを検討したい。

**問** 老人介護施設等での感染対策について。

**答** 介護施設では、感染予防の徹底とやむを得ない場合を除き、面会制限をしている。要介護認定の有効期間は、延長する等、柔軟な対応としている。

**問** オンライン授業の環境整備が急がれる。国は、生徒・児童に一人一台のパソコンを整備することだが、家庭におけるネット接続費用への支援はないのか。就学援助で対応できないか。

**答** Wi-Fi環境が整わない家庭には、今後調査し対応を検討したい。

### 新型コロナ禍での経済対策について

**問** 市の経済的支援について、中小企業振興資金等の実績は。

**答** 5月末現在の中小企業振興資金の融資申込件数は65件、3億6千370万円。融資に対する市独自の補助金は63件、3千847万円。

また、国や県の感染症対策融資を受けた業者へ、利子補給や雇用調整助成金への上乗せ補助制度を創設している。

**問** コロナ禍の今、国民健康保険税の滞納があっても、保険証を全市民に送るべきでは。

**答** 国保税は、新型コロナ感染症により、主たる生計維持者が死亡または重篤な傷病の世帯であれば、保険料を全額免除。収入が前年比10分の3以上減少の世帯は、保険税の一部減額となる。また、収入が前年比10分の2以上減少し、期限内の納付が困難な場合、徴収猶予措置も受けられる。相談をいただいた上で、保険証の交付を行う。

**問** 新型コロナウィルス感染が疑われる場合のPCR検査や、入院費用は、全て健康保険と公費で賄われるのか。

**答** その場合、保険と公費で賄われ、患者負担はないが、検査を受ける際の初診料等、一部、患者負担が生じる。



避難所に設置された室内用テント

## 総務産業委員会

### フェリーターミナル 建築工事費用増額の理由は



総務産業委員長  
西山一規

「フェリーターミナルビル新築建築主体工事請負契約の締結について」の議決変更について

**問** 今回の増額変更は、工事の施行途中で転石が発生したことにより、当初予定していたアースドリル工法から、アースドリル工法とオールケーシング工法を併用する工法に変更するためと思うが、当初の工法は市がその選定を行ったのか。また、なぜ当初から転石の可能性を予測できなかったのか。

**答** この工法は市が選定し、発注した。また、転石の可能性については、事前に土質調査を2カ所で実施しているが、その調査の中では、約60センチもの転石が広く発生していることは予測できなかった。

**問** 当初からオールケーシング工法で施工していた場合、費用は高額になっていたのか。

**答** その工法で全て施行すれば、費用はかなり高額になる。また、全行程を

オールケーシング工法で施工する必要もないため、今回、アースドリル工法で施工できない箇所については、併用で施工することとした。

**指摘** 施工箇所は埋立地であるため、転石が含まれていることは常識的に想像できたはずであり、また、埋立て当時の資料を事前に調査していれば、確認できていたはずである。その調査がより深く行われ、事前準備を念入りに行うことで、今回の工法変更に伴って発生する経費を抑えることができたと思うため、今後は事前調査の徹底を図ってほしい。



フェリーターミナルビル建設現場

## 民生文教委員会

### 病院の特殊勤務手当 新型コロナウイルス対処時新設



民生文教委員長  
竹内秀明

専決処分報告について（市立八幡浜総合病院職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について）

**説明** この条例は、新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための業務に従事した職員を対象に定めたものであり、職員が新型コロナウイルスに感染した患者もしくは、その疑いがある者の検体を採取した場合や軽傷・中等症患者の病棟受入れ等の業務に従事した際に手当を支給することを想定しており、手当の額は日額3千円もしくは、日額4千円と定めている。

この金額的な差異は、新型コロナウイルス感染者もしくは、疑いのある者の身体に接触し、又はこれらの者に「長時間」にわたり接して行う業務に従事した場合に4千円、それ以外の業務に従事した場合に3千円の支給とするものである。

**問** 特殊勤務手当の支給額3千円と4千円の違いについては、どのようにして決定したのか。

**答** 金額については、国、県に準じた形で決定している。

**問** 日額3千円の具体的な業務内容とはどのようなものになるのか。

**答** 先に述べた日額4千円の支給要件にある「長時間」というのは、おおよそ1時間を目安としており、例えばPCR検査については、医師、看護師、事務職の3名が1チームとなり対応をすることになるが、1時間はかからないと思われる。

このような1時間未満の対応で直接患者様と接触しない場合については、3千円。1時間以上の対応や、直接患者様と接触する場合については、日額4千円というような形を想定している。





予算委員会

南海トラフ地震  
事前復興に向けた調査内容は



予算委員長  
平家恭治

南海トラフ地震事前復興実施可能性調査業務委託料について

**説明** 今後、高い確率で発生が予測されている南海トラフ地震は、本市で震度7が想定されており、発生すれば甚大な被害をもたらすと想定されている。

この大規模災害に対処するため、平成30年度、「宇和海岸地域南海トラフ地震事前復興デザイン共同研究センター」が本市に設置されており、「センター」では、震災後の、速やかな復興を行うために、事前復興として研究に取り組んでいる。

研究では、津波被害の恐れが無い愛宕山を開発し、大きな被害が想定される市街地から市民がより安全に避難することができるスペースの確保、それに伴う避難道路、避難施設を造るプランが本市へ提案されている。本市として、速やかな復興を行うための整備ができるか等、事業実施の可能性について調査を行うものである。

**問** 愛宕山に避難するということになると場所の造成が必要になるが、そこは土壌的に安定しているのか。

**答** 大災害発生時、津波の到達時間にもよるが、徒歩を基本として高台や近くの避難ビルに避難するということが優先となっている中、車等により避難せざる負えない要支援者や高齢者の安全かつ確実に避難できる方策が必要であり、どこが一番いいかというところで愛宕山を提案していただいている。

地盤の関係はあるが市内、どこをとっても地盤に限らず多くの問題が出ると思われ、そういったところも含めて調査の中で確認していくことも考えている。

**問** 南海トラフ地震の事前調査であるが、どこからどこまで調査されるのか。

**答** 愛宕山については、大法寺から上がる道と西安、大平側から上がる道がある。その中でどう整備していくのか、拡幅も必要であり、それ以外に新たな避難道を整備することができないかという点も今回の調査・研究の中で考えている。

**問** 委託料1千万円の積算根拠と業者の選定方法は。

**答** 道路としては、新設と既設の改良を含め、3キロから4キロ程度の概略設計である。それと愛宕山の造成で

5ヘクタール程度の開発をする場合どうなるのか、そういったところの可能性を調査する業務となる。今後、対応可能な業者を選定し入札を行っていききたい。



JA 西宇和矢野崎出張所2階にある  
事前復興デザイン研究センター

救急車ETCレーン通行

無料通行を求める意見書提出

6月市議会定例会最終日、議員提出議案「救急車のETCレーン無料通行体制の整備を求める意見書の提出について」が、全会一致で採択され、県に対し、意見書を提出した。その内容を要約したものを次のとおり掲載する。

**意見書** 救急搬送のため、救急車が高速道路を利用する際、自動料金收受システム（ETC）レーンを通行できておらず、有人の一般レーンを通行している事例が明らかになった。

現在、八幡浜地区施設事務組合消防本部所有の救急車は、全てETC車載器を積載しているが、高速道路を管轄していない消防本部であるため、業務専用ETCカードの発行がなされておらず、道路整備特別措置法第24条第1項但し書きの規定による「無料通行をするには、料金所通行時に有人の一般レーンを通行し、その際に救急搬送であることを申告することにより料金所係員が通行記録を残し、無料扱いとなっている」というのが現状であり、時間短縮を図るため通信指令室より通過予定時間を事前連絡している。

一般レーンの通過は、前車の渋滞状況によって、ETCレーン通過より時間を要することは明らかであることから、救命率の向上のためにもETCレーンの無料通行は極めて重要である。

そのため、次の事項に対処することを要望する。

1. 救急車の緊急走行時のETCレーン無料通行体制整備に向けて、必要な措置を講じること。
2. 右記に対し必要な予算措置を講じること。

# 市民の自主的な 文化・芸術・ボランティア活動 を支援する施設

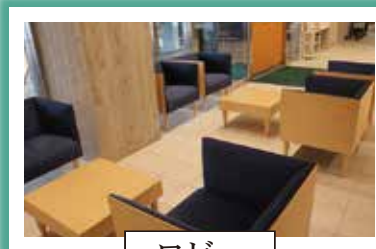


八幡浜市民文化活動センターを  
議会だより編集委員会が視察

美術館



外観



ロビー



会議室



和室



音楽練習室



スタジオ・リハーサル室



## 編集後記

今、世の中は新型コロナウイルスの影響で大変混乱しています。幸いにも当市では感染者は出ていませんが、油断大敵です。外出自粛のために様々な行事の中止、友人たちとの楽しい飲み会の取り止め等、町が泣いています。

私もお手伝いをして『平家そうめん流し』も延期をしています。困った事は『ニジマス』の取り扱いです。色々な人に助けていただいて、甘露煮にしたり、塩焼きはもちろん、生魚等で注文をいただいで、予約数量1万8千匹の半分ぐらいを販売出来ました。皆様の温かい御厚意に感謝の言葉しかありません。

コロナウイルスによって、助け合いの心を再確認させられました。コロナウイルスに負けないように二次・三次感染を防いで頑張りましょう

### 《議会だより編集委員会》

委員長 菊池 彰  
副委員長 高橋 時英  
委員 遠藤 綾

西山 一規  
佐々木 加代子  
竹内 秀明  
平家 恭治

八幡浜市議会事務局

TEL 22・5998

市議会の詳しい情報は、八幡浜市議会のホームページをご覧ください。

八幡浜市議会

検索



「やわたはま議会だより」は、環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しています。